

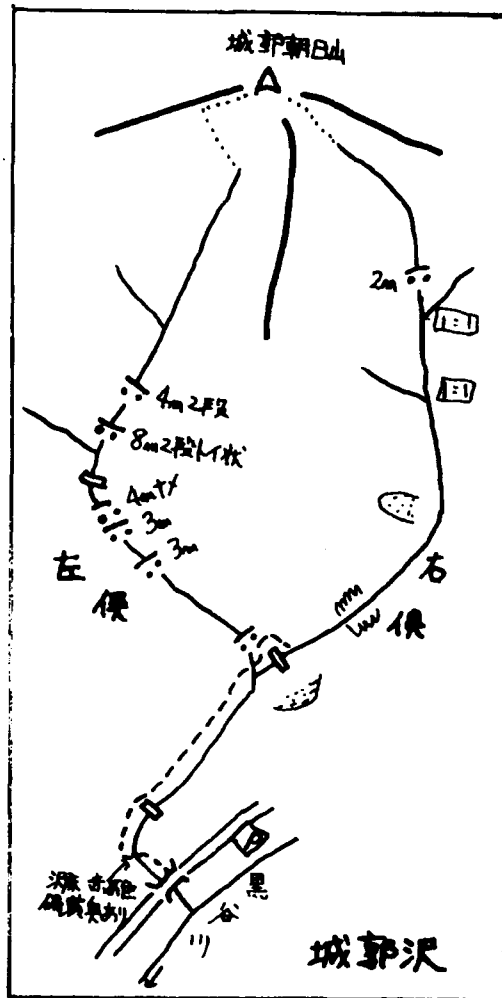
会津駒・朝日山系の沢

黒谷川支流城郭沢左俣 1992年8月28日

前夜19時30分に福島発。23時に黒谷川城郭沢出合近くの車寄せに駐車。黒谷川発電所工事で、駐車制限が多い。

早起きして出発。城郭沢左俣出合までは、もとは砂防ダム工事用の道路であったと思われる踏跡をたどる。城郭沢左俣は、砂防ダム付近にいくつかの滝をかけた後は川原となり、水流も細る。沢だけでは気が觸まらないこともあって、城郭朝日山の山頂をめざす。クロヅルや根曲がり竹のヤブこぎ30分で山頂。山頂東側（倉谷川側）は切れ落ちている。岩場はないが、傾斜は相当なものであった。 (記・)

[タイム] 城郭沢出合(6:45)→左俣出合(7:25)→砂防ダム(8:00)→水流消失(10:00)→稜線(10:30)→城郭朝日沢(10:40)



黒谷川支流城郭沢右俣

1992年8月28日

Li

城郭朝日山からの下山路として、城郭沢右俣にルートをとる。滝はなく、長いダラーっとした川原歩きとなる。砂防ダムまで下り、あとは踏跡をたど

って、黒谷川ぞいの林道に出る。

(記)

[タイム] 城郭朝日山(11:00)→砂防ダム(14:05)→左俣出合(14:20)→黒谷林道(14:45)

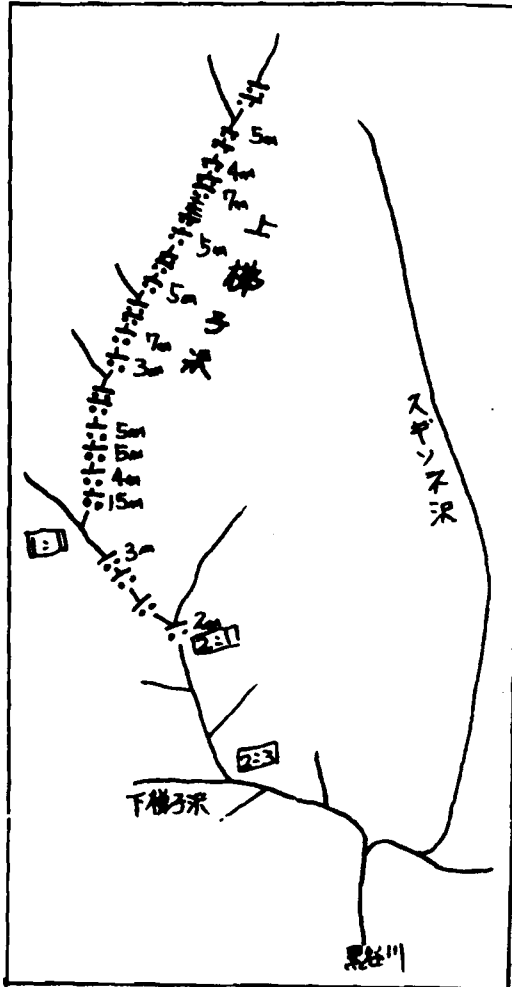
黒谷川支流上梯子沢

1992年8月29日～30日

L)

8月29日 林道ゲート(7:20)→沢(8:15)→上梯子沢出合(11:30)

林道のゲート付近で野営していた都戦山の会のメンバーと一緒に遊行する。ゲート付近は大きな広場となっているが、大部分はダム工専用トラックの回



転用スペースとして利用されており、駐車スペースは数台分しかない。駐車スペース以外の部分には駐車禁止の表示があり、そこに駐車して出発した釣師の車は、強制的に移動させられてしまった。

林道を歩き始める。かなりしっかりした道であるが、途中からヤブがひどくなり沢に降りる。林道も沢も、釣師が捨てたと思われるゴミでいっぱいである。都戦山の会とは、パーティは別々であるが行動は一緒ということで歩く。平凡な川原が続きあきてきた頃より、釣り糸をたらずも効果なし。

11時30分、上梯子沢出合着。少し早いですが、ここでテントを張ることにする。付近は釣師も野営する場所らしいが、ゴミがひどく、テントを張る前にゴミを燃やすことから始める。夕立の後、なんとか吊り上げたイワナを味わいながら、たき火と宴会という、当初山行